

完了後の評価個表

整理番号	26
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	鹿児島県
地域（地区）名	くまげ 熊毛	事業実施主体	県、市町、森林組合等
関係市町村	にしのおもて 西之表市ほか3町	管理主体	県、市町、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H27年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は、鹿児島県本土の南の洋上に位置し、森林面積は72,523ha（森林率73%）である。このうち民有林が30,891ha（43%）、人工林が10,333ha（人工林率33%）となっている。</p> <p>本地区は、水資源の確保が困難な島嶼^{とうしょ}において、下流域に豊富な水を供給する重要な役割を担うが、島嶼^{とうしょ}特有の急峻な地形や、台風の常襲地帯であり、また、資源の面で充実してきた伐期を迎える林分も多く存在することから適切な森林整備を図る必要がある。</p> <p>本地区の森林は、保育・間伐が必要とする林分が多く見られるが、近年の木材価格の低迷と高齢化に伴い、手入れが不十分な森林があることから、持続可能な森林経営と地域の実情に応じた計画的な間伐、保育等の実施などの森林整備を推進することが望まれる。</p> <p>このため、本地区内の森林が有する水源涵養機能^{かん}や山地保全機能などの公益的機能を発揮するために必要な造林や間伐などの森林整備を実施した。また、これらの整備に関する地元関係者の意欲は高く、コスト縮減を踏まえて実施したものである</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 森林整備 1,683ha 人工造林、下刈り、間伐、森林作業道等 ・総事業費 1,093,572千円（税抜き1,026,151千円） （平成22年度時点 747,500千円（税抜き711,905千円）） <p>※なお、事業採択時は事前評価の対象外である。</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>現時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>事業着手以降、労務単価の上昇や優先度の高い箇所から実行したことに伴う事業量の変動等を踏まえ費用便益分析を実施した。</p> <p>総便益（B） 16,310,923千円 総費用（C） 1,801,038千円 分析結果（B/C）9.06</p>
-------------------------	--

② 事業効果の発現状況	<p>効率的な森林施業を推進していく上で重要な要素となっている林業の採算生や労働生産性の向上が図られるとともに、施業の集約化を推進した間伐等により高性能林業機械等を用いた低コストで効率的な作業システムによる施業の普及・定着が図られつつある。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。</p> <p>また、地元ボランティア活動で除草も実施し、整備後の施設の維持管理は良好である。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等、様々な公益的機能が発揮されている。 ・事業実施による野生動植物の生息・成育環境の悪化、溪流水の流量の減少は見受けられない。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>森林資源の充実や県産材利用の推進により、間伐は切捨から搬出へシフトしている。また、大型木材加工施設や木質バイオマス発電所が稼働し、木材需要がさらに増加しており、木材供給源としての期待がより一層高まっている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>当県では、再造林、間伐を重点課題に位置付け、地域ぐるみの再造林、間伐の推進に取り組んでいるところである。</p> <p>今後、主伐期を迎える人工林が増加する傾向にあるが、経営規模は零細でかつ、林道等の基盤整備も十分でないことから、生産性の向上、労働強度の軽減及び生産コストの低下を図るための林業機械化、特に傾斜地の多い地形条件や樹種等に対応した機械化の導入や計画的な路網整備は重要な課題であり、併せて集約化に向けた対策を一層進めて行く必要がある。</p> <p>地元の意見： (鹿児島県)</p> <p>森林整備事業の実施により水源涵養や山地保全等の公益機能の発揮に寄与している。</p>
評価結果	<p>必要性： 間伐や主伐・再造林の適切かつ確実に実施し、森林資源の循環利用を図りつつ、水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能を持続的発揮することが求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 本事業により、効率的な施業に不可欠な路網の整備、間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施することで、水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の持続的発揮が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

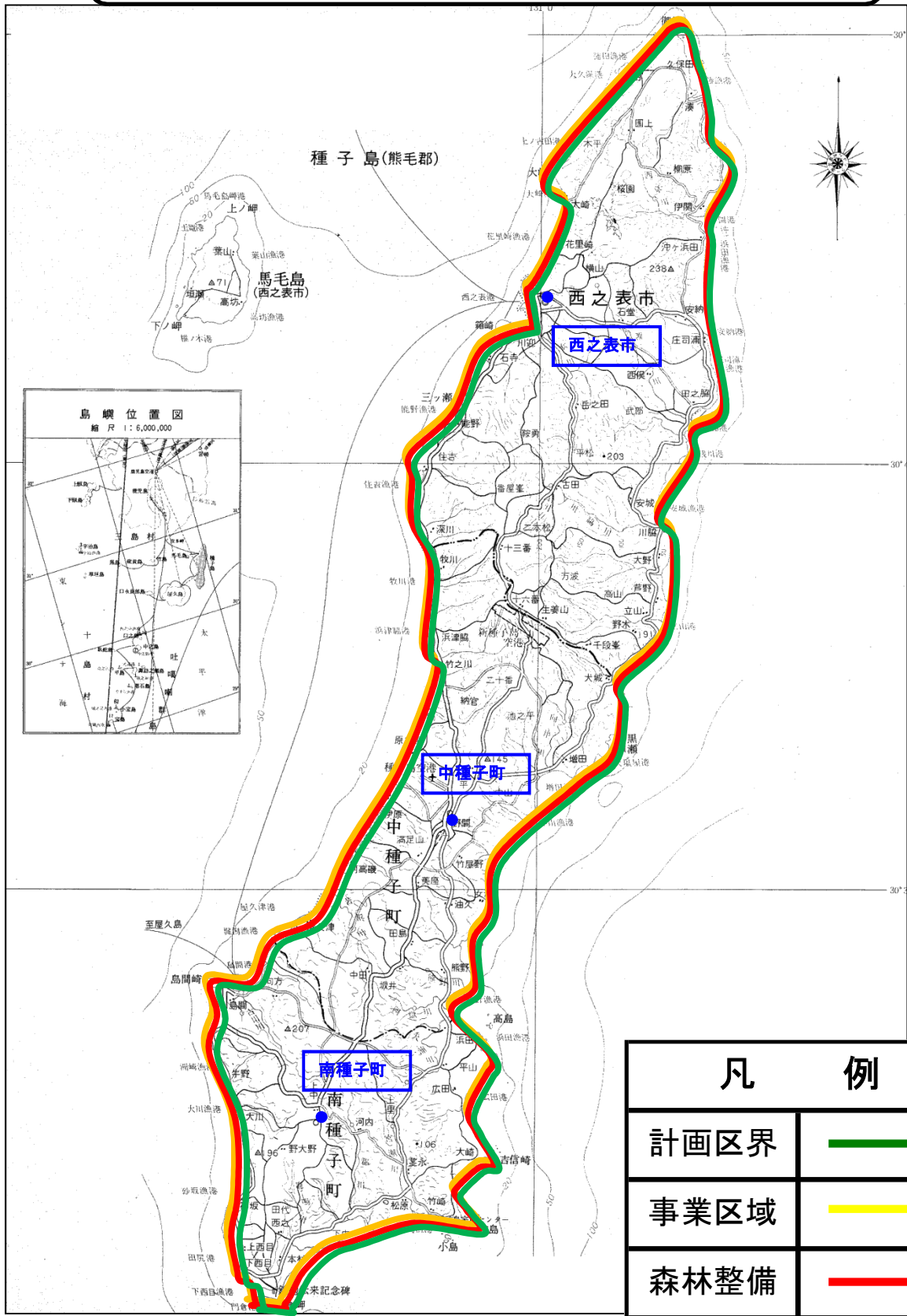
都道府県名：鹿児島県

地域(地区)名：^{くまげ}熊毛

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,768,175	
	流域貯水便益	1,439,873	
	水質浄化便益	5,400,037	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,976,455	
環境保全便益 木材生産等便益	炭素固定便益	3,543,826	
	木材生産確保・増進便益	1,182,557	
総 便 益 (B)		16,310,923	
総 費 用 (C)		1,801,038	
費用便益比	$B \div C = \frac{16,310,923}{1,801,038} = 9.06$		

森林環境保全整備事業 熊毛地区(種子島) (鹿児島県)概況図



森林環境保全整備事業 熊毛地区(屋久島)
(鹿児島県)概況図

屋久島町

面積	
計画区界	2,000.00
事業区域	1,500.00
森林整備	1,000.00

人口	
計画区界	10,000
事業区域	8,000
森林整備	6,000

人口	
計画区界	10,000
事業区域	8,000
森林整備	6,000

凡 例	
計画区界	——
事業区域	——
森林整備	——